

1. 教育目標 21世紀の**変化に対応できるしなやかで、たくましく生きる力の育成**
 新たなことを**食欲に学び、発見、挑戦**しようとする「**やっつけろうぜ**」の根性で立ち向かう強さ

2. 教育方針

- ・ 「ルールを守る」「やるべきことをする」など教えるべきことはしっかりと教える
- ・ 自ら考え、実践する主体性の育成

3. 中・長期的目標 (何ができるようになるか)

- ① 知識・技能とそれを使いこなす知恵の習得
【知識・技能】
 - ・ 各教科で習得する知識・技能と知恵
- ② 主体的・協働的課題解決能力の育成【思考力・判断力・表現力等】
 - ・ 課題解決能力、情報活用能力、プレゼン能力
- ③ 多様な価値観を認め、折り合いをつける力の醸成【学びに向かう力、人間性等】
 - ・ 主体性、協働性、コミュニケーション力、多様な価値観、道徳性

Sチーム

Cチーム

検証 (比較指標及び目標指数)

- 【知恵の習得】(授)
 - ・ 到達度調査や地域学力調査で 54P
 - ・ Reflection の書きぶり
- 【協働的課題解決能力の育成】(授+基)
 - ・ 「学び合う活動では、自分の考えや意見を伝えようと、自分なりに工夫することができた。」〇〇P
- 【道徳性の醸成】(授+基)
 - ・ 「自分の考えを安心して発表したり伝えたりすることができる。」〇〇P

4. 重点目標 (戦略)

PAチーム

Dチーム

【授業づくり】

- ・ 気付きから学びを深める授業づくり
- ・ ICT を活用し、個々の発達段階に応じた学力の向上を目指した授業づくり
- ・ 考え、議論し、積極的に発表する道徳授業の充実

【基盤づくり】

- ・ 対話を支える人間関係づくり

努力事項 (戦術)

- 【主体的・対話的で深い学び】
 - ・ 疑問から納得への Active learning



【学習内容の定着】

- ・ ICTの活用
- ・ 学習内容の確認の場の設定

【カリキュラム・マネジメント】

- ・ 教科等横断的な視点での系統性

【正直な自分を素直に表現できる雰囲気】

- ・ 生徒会とのタイアップした積極的生徒指導

【人材育成】

- ・ 若プロ研修の充実

5. めざす学校像

- ・ 安心・安全な教育環境を提供し、預かった子どもを確実に伸ばす学校

6. めざす生徒像

- ・ 知識・技能とそれを使いこなす知恵を身に付けた生徒
- ・ 主体的によりよい課題解決をめざす生徒
- ・ 多様な価値観を認め、協調性のある生徒

7. めざす教職員像

- ・ 限られた時間の中で、様々なカリキュラムや教育手法等を用いた質の高い教育サービスを提供する教職員集団

8. 働き方改革（業務改善）

- ・毎週水曜日を「定時退校日」として設定。
- ・目標「最終退校時間」19時30分（警備セット19時45分）の設定。（声かけ）
（業務に優先順位をつけ、効率よく仕事を行うことの推奨）
- ・リフレッシュウイーク、学校閉庁日の設定
- ・類似内容を扱う校内委員会や部会等の合同設置や構成員の統一を図る。
- ・配置されているスクールサポートスタッフ、ICTサポーター等の活用により、学級担任等の業務の軽減を図る。
- ・学校行事や業務等の精選、見直しを図る。（目的と効果）
- ・IPメッセージャーやテスト採点ソフト、アンケート集計ソフト、メール配信等 IT の活用を図る。
- ・部活動の週2日以上 平日1日と土曜日または日曜日の休養日の設定の徹底を図る。
- ・部活動の活動時間を平均2時間程度、休業日3時間程度とすることの徹底を図る。